

### 第3回 藤沢市交通アクションプラン策定協議会 議事要旨

- 日 時 : 平成27年3月24日(火) 14:00～
- 場 所 : 藤沢市民会館 2階 第1展示集会ホール

- 出席者 : 委員27名(五十音順・敬称略・下線は代理出席)

市古 元臣	遠藤 主計	大西 順一	岡村 敏之	加藤 正美	川村 聖
岸井 隆幸	黒田 聡	<u>近藤 正人</u>	<u>斉藤 勇</u>	杉本 重成	杉山 孝一
鈴木 隆夫	<u>清野 尚</u>	高橋 忠雄	高橋 信之	綱島 真人	<u>能勢 和彦</u>
<u>平野 雅之</u>	<u>寶珠山正和</u>	<u>三木 健明</u>	三宅 亮	村木 薫	矢後 勇
<u>山口 拓</u>	山田 正文	山田 護			

- 次 第 : 1. 開会  
2. 議事
  - ・「藤沢市交通アクションプラン(素案)」に関するパブリックコメントの実施結果について(報告)
  - ・藤沢市交通アクションプラン(案)について
- 3. その他

- 配付資料 : ・次第
  - ・委員名簿
  - ・出席者名簿
  - ・座席表
  - ・藤沢市交通アクションプラン策定協議会設置要綱
  - ・資料1 「藤沢市交通アクションプラン(素案)」に関するパブリックコメントの実施結果について
  - ・資料2 藤沢市交通アクションプラン(案)について
  - ・資料3 第2回藤沢市交通アクションプラン策定協議会～意見と対応方針～

- 傍聴者 : なし

## 議事

### ■「藤沢市交通アクションプラン（素案）」に関するパブリックコメントの実施結果について

【事務局】 資料説明

【岸井会長】

- ・パブリックコメントの御意見と、それに対する藤沢市の考え方について、何か御質問、御意見があればいただきたい。結果的には、いただいた御意見をそのまま反映するものはなかったということで良いか。

【事務局】

- ・既に位置づけているもしくは反映が難しい等から、直接的に計画に反映した意見等はない。

【岸井会長】

- ・普通、パブリックコメントを実施するとどのぐらい意見が寄せられるのか。35件、3人の方というのは多いのか少ないのか。

【事務局】

- ・多いほうと考えているが、1名の方から17件とか8件という件数の御意見があった。また、交通マスタープランのときにも7人で50件ぐらいの御意見をいただいている。

### ■藤沢市交通アクションプラン（案）について

【事務局】 資料説明

【岸井会長】

- ・4ページ、5ページに交通アクションプランの全体像が出ており、4ページでは、交通マスタープランでこれまで議論してきたことであり、4ページの基本方針1、2、3、4を受けて18の戦略というプログラムを構築している。その18施策については、50ページに大きく4つの柱、公共交通、歩行者・自転車、道路、交通結節点と分けて、18の戦略施策を実施していくとしている。アクションプランは、10年間の計画となっているので、10年間の市の取組みがここに網羅的に出ており、これをもって、さまざまな事業を遂行するとともに、国に対しても助成をいただけたところはいただきにいくという流れになる。
- ・102ページ、103ページに、PDCAの記載があるが、アクションプランが策定されると、これから10年間、市はそれに基づき進めていくことになるが、PDCAそのものは、どのように、誰がチェックすることになるのか。

【事務局】

- ・2つの流れで進めていきたいと考えており、中間点になる5年、最後の10年に関しては、統括して、都市計画課が見直しの必要があるのか、次の計画をつくるのかといった観点を含め、チェックしていきたいと考えている。個別の事業については、それぞれ担当部署があるので、その担当部署がチェックをすることを考えている。

**【岸井会長】**

- ・全体の見直しは、5年ないし10年で行うという話であったが、その際は、またこのような策定協議会といった組織が必要になるのか。

**【事務局】**

- ・このアクションプランは、都市・地域総合交通戦略要綱や地域公共交通活性化再生法に基づき策定しており、その中に、変更がある場合についても、このような協議会をもって行うこととなっており、またお集まりいただくことになると考えている。

**【岸井会長】**

- ・その間に、この協議会は、特に何もなければ開かれないということか。毎年1回ぐらいは実施するのか。

**【事務局】**

- ・今のところ、このような会議体では行わないことを考えている。

**【岸井会長】**

- ・しばらくの間はこのプランに基づき事業を進め、もし何か大きな変更点、社会の状況の変化があれば、またお集まりいただいて、どのように改善をしていくのか、対応するのかということを考えていただく。
- ・5年に1度、あるいは10年に1度は必ずこれを全体的に見直すということで、公共交通から道路整備までいろいろと施策があるので、各分野の皆様が、ある程度、情報を管理していただく等の配慮はぜひお願いをしたいと思う。
- ・今、説明のあったアクションプラン案について御意見、御質問があればお願いします。

**【A委員】**

- ・50ページの戦略施策の整理について、都市・地域総合交通戦略及び地域公共交通網形成計画に該当する施策を※1から※3で整理されている。こういった整理は必ずしも要らないのではないかと思うが、戦略1-1いずみ野線の延伸や戦略1-3の片瀬・江の島周辺の施策については、駅の交通機能の確保、乗り換えなど公共交通に関する内容のため、もし書かれるのであれば、※3にするのが良いと思う。
- ・68ページの展開する具体的施策で、交通システムの導入支援（地域公共交通再編事業）として、乗合タクシーの導入とあるが、地域公共交通再編事業の定義としては、路線の変更ですとか他の運送事業への転換ということが前提条件となるため、それがここに記載されている地区に該当するのかというのが1つあります。加えて、ここで地域公共交通再編事業として位置づけると、今後、再編実施計画の作成が求められるのだが、そのあたりはどのように考えておられるのかを確認したい。
- ・例えば67ページを見ると、戦略1-5では、地域住民と行政、事業者という形で、各実施主体が何をするかという整理がされているが、他の戦略については記載されていない。事前に、誰が何をするかということに記載すべきではと御意見をさせていただいたが、その対応について、お考えをお聞かせいただきたい。

**【事務局】**

- ・1点目の50ページにつきましては、確かに、戦略1-1、1-3は、公共交通に関する施策ではあるが、今後10年間では、公共交通として実現までは達しない状況にあり、その場合、公共交通網形成計画に位置づけられないという認識であったので、※1として整理していたが、公共交通

に関する施策ということで位置づけて良いとのことであるので、御指摘のように、※3の位置づけに変えたいと思う。

- ・次に、68ページの地域公共交通再編事業についてですが、国等の資料を確認し、今後精査が必要な部分もあるが、該当事業の拡充の中で乗合タクシーに関しても導入が可能という認識であったため、このような記述をしている。

また、地域公共交通再編事業として実施するとした場合、今後、実施計画をつくっていかねなければならないということも認識している。そのため、記載している5地区を同時に全て動かせるとは考えていないが、状況にあわせて、再編実施計画をつくっていきたいと考えている。

- ・最後に、各実施主体の役割分担についてだが、地域内交通に関しては、特に、地域住民の方たちの意向が実現に大きく影響するため、その役割分担を記載することとしている。

ただ、その他の施策に関しても、記載はしていないが、行政、地域住民の方々、交通関係者の方々と連携しながら進めていきたいと考えている。

#### 【岸井会長】

- ・先ほど2番目に御指摘のあった内容についてはいかがか。市としては、導入可能と考えていたとの回答であったが。

#### 【A委員】

- ・定義上は、例えば、路線バスから乗合タクシー、デマンド交通に変えるということであれば該当するが、公共交通が無いエリアに乗合タクシー、デマンド交通を導入する場合は、該当しないことになる。さらに、今回、地域公共交通網形成計画として作成しているが、その中に、特定事業の一つとして、地域公共交通再編事業に関する事項を記載する必要がある。その後、地域公共交通再編実施計画を作成するという流れになるが、現状の地域公共交通再編事業に関する記載内容では不足しているため、実施計画に移行する時点で、地域公共交通網形成計画を変更することが必要になってくると思う。そのあたりは、別途御相談させていただければと思う。

#### 【岸井会長】

- ・どのように記載するのが良いのかは、別途、相談いただければと思う。

#### 【岸井会長】

- ・善行の乗合タクシーの実証実験は、現在、どのような状況か。

#### 【事務局】

- ・2月2日から実証実験を開始しており、2月の1か月間は、1日平均の乗車人数が15、6名程度であったが、その後、自治会に対し回覧文をまわすなど、周知を少し強化したためか、3月の第1週には1日30名前後まで乗車人数が増えている状況である。2度ほど乗合タクシーに乗り切れず、追尾という形でタクシーの増車も行っており、徐々にではあるが、増えている状況にある。

#### 【岸井会長】

- ・初めて聞く方もいると思うので、善行の乗り合いタクシーの仕組みを簡単に御紹介いただきたい。

#### 【事務局】

- ・善行地区は、非常に山坂の多いところであるにもかかわらず、地域的にも道が狭いということで路線バス網が十分ではなく、高齢者をはじめ、バスを使つての移動ができない状況にあることから、アクションプラン（案）の69ページに写真があるように、タクシーを利用して、定時定路線で運行している。運行時間は朝の9時台から夕方5時台までとなっており、おおむね

時間1本で運行しており、料金は、大人250円一律となっている。今後、3月末まで、実証運行を行い、その後、4月以降も3、4カ月から半年程度、実証運行を行い、地域の方たちと今の利用状況や運行ルートなどの協議を再度行い、秋以降に本格運行するという計画で関係者等と調整を行っている。

**【岸井会長】**

- ・1日30人ぐらいの乗車があるとの説明であったが、1時間に1本で、8時間、8本しか走っていないとすると、ほぼ満車に近い状態で走っているということか。

**【事務局】**

- ・乗車時間帯にばらつきがあり、利用されているときには、近所の方が声をかけて利用されているということで、1度に3、4人というときもあるが、12時台とか1時台は乗車人数がゼロという報告を多く受けている。ですので、どの時間帯もおおむね3人程度乗車しているというよりは、周り近所のお声がけや病院に行く時間がたまたま重なるなど、特定の時間に多く利用されているという状況にある。

**【岸井会長】**

- ・このような取組みが、引き続きほかの地区でも検討できないかということですので、それがどのような仕組みであれば、国の支援をいただけるかというのは、別途、相談いただければと思う。

**【B委員】**

- ・善行地区の乗合タクシーの件だが、去年の12月20日に、善行地区の地域課題に関する地区全体での意見交換会があり、その席で、のりあい部会から、2月からそのような取組みが始まるという話があった。私も2、3日前、12時ぐらいにあそこのそばに行ったので、タクシーの乗車状況はどうかと思い、見ると、御婦人が3名ぐらい乗っていた。また、今日、来るときに、1時15分発があるので、見たら、発車5分ぐらい前のときは誰も乗っていない状況であった。これは、この辺りでは、初めての取組みであり、ぜひここに載っている4カ所を推進してほしいと思う。今は250円で乗れるが、実施の段階では、少し料金がアップするようなことを聞いているが、ぜひこういうのを導入していただきたいと思っている。
- ・善行地区でもアンケートを行い、希望の多かったのが東部地区だったことから、東部地区だけになっていると聞いているが、実証実験がうまくいっているならば、善行地区のほかのエリアにも水平展開していただければと思う。アクションプランに記載されたことが、すぐに実行していただいているので、非常にありがたいと思う。
- ・68ページに4地区の具体的な乗合タクシーの導入が記載されており、さらに、近隣都市と連携した新たな公共交通（乗合タクシー等）の導入というのが記載されているが、102ページの交通アクションプランの進行管理の評価指標1-3、地域特性に応じた公共交通サービスやデマンド交通などの導入エリア数の増加ということで、目標が6エリアになっている。これまでの資料でも6エリアになっており、68ページに記載された具体的な導入エリアとしての4エリアが、どうリンクしているのか確認したい。

**【事務局】**

- ・68ページに記載の4地区については、実証実験を行っている善行東部地区をはじめ、住民から御意見、御要望等がでている等、現状で、取組みがある地区を記載している。また、藤沢市内には山坂が多いエリアが他にあり、高齢化社会といった現状があることから、今後、要望等が

出てくることが想定できることから、善行地区を成功させ、それらの成功事例を基に、導入エリアを増やしていきたいという希望をこめて、目標についてはプラス2の6エリアとしている。

**【C委員】**

- ・戦略4になるのかと思うが、鉄道の安心安全として、ホームドアの設置に関する記載をアクションプランに載せることはできないのか。

**【事務局】**

- ・ホームドアの設置については、現状、藤沢市に乗り入れしている鉄道各社が、列車によってドアの設置位置や数が違うといったことから、現状あるホームドアの設置が難しいため、今回の計画からは外させていただいております。ただ、ドアの設置位置や数の違いにも対応可能なホームドアも検討されているので、そのようなものが実現化された場合は、交通事業者さんとの連携にはなりますけれども、取り組んでいきたいと考えている。

**【岸井会長】**

- ・現状としては、ホームを使っている列車がいろいろあり、ドアの位置が異なるので、ホームドアの設置は難しいとのことですが、鉄道事業者の方、これについてさらに補足されることはありますか。

**【D委員】**

- ・事務局からも説明があったが、新しい技術というか、ホームドアの形状もいろいろ技術が進歩していますので、そういった進歩によっては、新たな取組みができると思っているので、様々な条件が整ったときまで、待っていただければと思う。

**【岸井会長】**

- ・アクションプランに記載がなくても、条件が整えば、実施していただければ良いし、プランも必要があれば、変更するとのことですので、そのように進めていただければと思う。

**【E委員】**

- ・交通アクションプランの進行管理ついてだが、全部数字であり、定量的に計測できるものしか記載がない。ところが、交通アクションプランでは、49ページ、50ページにあるように様々な施策を実施することとしており、定量的には計れない部分、例えば歩行者の環境はどういうふうに進んでいるのかということや管理していかなければいけないし、自転車の利用促進として、いろんなことを書いてあり、5年、10年先に一体どうなっているかの絵が描けているのであろうが、それが見えるようになっていない。進行管理について、定量的になるのは、わかるが、そうではない部分で結構大事な部分があると思う。それを一工夫、つけ加えたらどうかと思う。

**【事務局】**

- ・交通に関する施策については、今後の少子高齢化等を見定めた上で、外出機会の創出や使いやすい公共交通につながる取組みを進めていきたいと考えている。その中で、指標については、定量的に示せるものを示しているが、満足度といった指標については、市民の方が、取組みの過程や結果に対し満足していただけるようであれば、数値が上がってくると考えている。それ以外については、1度検討させていただく。

**【岸井会長】**

- ・整備等の実績は、毎年毎年、積み重ねがあるので、評価はできる。ただ、目標感を持ってやれるかどうかについては、目標となる定量的な軸が見えないと言葉だけでは説明しづらいので、

現在のような指標になっていると思う。ただ、全体を見渡して、我々が取り組む内容は、必ずしもこういう指標だけではないという御指摘だと思うので、P D C Aを回すときに、我々は一体何に取り組んできたのかということがわかると良いと思う。

#### 【F 委員】

- ・自動車専用道路では、2人以上乗っている車と1人で乗っている車と分ける、プールエリアということは考えていないのか。考えていなければ、考えていただければと思う。
- ・もう1つは、藤沢駅についてだが、乗り入れしている鉄道の線路の位置は、昔と変わっていない。高架化したのは、江ノ電さんだけである。新橋駅のように、駅舎は高いほうが良い。藤沢駅の現状は、階段を上って、改札を通過して、また下がっていかなければいけなく、無駄な動きがある。駅舎、鉄道線路を高架化するというのは突飛な考えかもしれないし、100年先になるかもしれないが、将来に向けてはそのようなことも考えていただきたい。私は藤沢で育ち、藤沢にずっと住んでいるが、線路の高さは昔と変わらない。夢みたいな話かもしれないが、将来を見通して考えていただければと思う。

#### 【岸井会長】

- ・今後、10年間のアクションプランの中に取り込むことは難しいが、藤沢駅の改良については取り組んでいくことがアクションプランにも記載されているので、取り組み内容を教えていただければと思う。

#### 【事務局】

- ・藤沢駅周辺に関する取り組みについては、戦略4-2として、94ページ、95ページに記載しており、特に95ページの図を見ていただくとわかりやすいと思う。基本的には北口から取り組みをはじめ、次に南口を行っていく予定であり、特に来年については、94ページの北口駅前広場リニューアル事業に示している銀座通り線について、電線類の地中化や、エスカレーターを設置を行っていく予定である。また、北口のデッキについてもリニューアルを行い、整備後には、イベントや催し物等への活用や災害時には待機スペースとして活用できるようにしたいと考えている。
- ・また、乗りかえのスムーズ化、利便性の向上に向けた駅改良として、2階レベルに改札口を設置することをJ Rさんや小田急さん等、関係事業者と協議を進めている。

#### 【岸井会長】

- ・10年では、線路を高架化するの難しいが、少なくとも、今の乗りかえがもう少しスムーズになるように取り組んでいくということかと思う。

#### 【E 委員】

- ・藤沢駅周辺の関連ですが、結節点という考えがありましたが、結節点は、何も鉄道に限らない。例えば、雨の日に一般の方は、車で送り迎えするが、とめる場所がない。つまり、広場がないから、そのような状況になるわけで、リニューアルをするのであれば、もっと抜本的に行わないとすぐ行き詰まってしまう。駅舎をつくるとか、もっと広場をつくるということが本当の結節点の考えだと思う。

#### 【岸井会長】

- ・もっと大胆に考えて、これから頑張れというようなエールであるというふうにお聞きしておきましょう。

#### 【B委員】

- ・アクションプラン（案）では、【参考】という記載が5カ所出てきている。私は、いろいろと市民等から要望や意見が出てきた際に、どのようにしてその大きい課題に取り組んでいくのかと思っていたが、例えば、江の島であると、64ページの参考を見ると、江の島魅力アップ・プランが平成25年3月に策定されており、委員会等を設置して、策定したのが想像できますし、同様に、藤沢駅周辺についても96ページの参考を見ると、藤沢駅周辺再整備構想・基本計画が平成24年3月に策定され、80ページには、ふじさわサイクルプランが参考として記載されており、これはサイクルプラン策定協議会でいろいろと検討した内容が平成26年に策定されているというのがわかる。こういうのが5つほど記載されているので、大きな課題や取組みについては、プロジェクトや委員会を通じて進めていることが、私は理解できた。そのため、参考を記載していただいたので、ありがたかったと私は思う。

#### 【岸井会長】

- ・ありがとうございます。ちょっとお褒めをいただきました。

#### 【岡村副会長】

- ・いろいろまとめていただいて、ありがとうございます。  
いろいろ具体的に記載されているので、市民にもかなりわかりやすくなっていると私は思っているところです。先ほど発言がありましたように、いろいろな既存のプランとの整合をわかるように記載しているというところで、私はよくできているなと思っています。

#### 【岸井会長】

- ・計画としては、わかりやすくなっているというお褒めの言葉でしたが、実際には、記載した内容を実施して行かなければならないので、絵に描いた餅で終わらせないように、ぜひ関係機関の皆様のさらなる御協力をいただいて前進させていただきたいと思います。
- ・5年、10年という形で見直しをするということになりますので、先ほどのお話でもあったように、かなり抜本的な話とか時間を要する内容について、今から検討を進め、あるタイミングでそれに切りかえるというように進めなければ、その時点でぱっと考えついても、なかなかすぐにはまとまりませんので、そういった長期的なビジョンについては、ぜひ長い目で見て、市として取り組んでいただきたいと思います。

#### 【事務局】

- ・本日、御議論いただいて、これまでの修正点等々を確認していただいて、また新たに御指摘や御意見もいただいた中で、反映できるものは反映したいと考えております。  
先ほど会長からもお話がありましたとおり、内容につきましては、ある時期を迎えて、さまざまな上位計画も変わっていくということにあわせて、このプランについても見直しをしていくこととなります。一応目標は5年、10年というスパンで行ってまいります。大きな社会情勢の変化ですとか、市のほうの大きな計画の変化とかがありました場合には、経過も踏まえて見直しをさせていただきたいと思います。

今回は、策定に当たりまして、皆様に協議会という形で御参加をいただいておりますので、一旦はここで終了という形になりますが、また、必要に応じて御協力をいただくこともあると思いますので、そのときはぜひよろしくお願ひしたいと思います。ありがとうございました。

#### 【岸井会長】

- ・ありがとうございました。アクションプランにつきましては、本日、頂戴した御意見をふまえ



整合をとらなければいけない部分もありますので、大変恐縮ですが、その点は私のほうに御一任いただいて、後ほど、事務局と私で整理させていただきたいと思います。

**【岸井会長】**

- ・ それでは、大変お忙しい中、3回にわたって御参集いただき、いろんな御意見をいただきまして、ありがとうございました。これからの10年間の藤沢市交通アクションプランというものが、これで成案になりましたので、ぜひ着実に実現に向かって努力していただきたいと思います。

**【事務局】**

- ・ 今後の予定でございますが、ただいま御議論、御意見等をいただいたこの計画案に対しましては、今後、会長と相談をさせていただいた上で、今年度中に計画を成案として取りまとめていきたいと考えております。また、取りまとめました計画につきましては、市のホームページで公表すると共に、委員の皆様には、後日郵送させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・ アクションプラン（案）について、何かお気づきの点がありましたら、今月26日木曜日までに都市計画課まで連絡をいただければと思う。

**【G委員】**

- ・ このたびは、交通マスタープランに引き続きまして、交通アクションプラン策定に、委員の皆様にご多大なる御協力と御支援を賜りまして、まことにありがとうございます。おかげさまで、今後の藤沢市の交通まちづくりを進めていく上での実施計画となります計画を策定することができたと思っております。来年度以降、このアクションプランに位置づけた施策の推進に向けまして取り組むとともに、達成度を検証し、問題点があれば見直しを行ってまいりたいと考えております。また、今後は、個別の事業につきましては、委員の皆様にはお力をおかりすることもあるかと思いますが、その際には御協力のほど、どうかよろしくお願いいたします。本日はまことにありがとうございました。

**【事務局】**

- ・ 以上をもちまして第3回藤沢市交通アクションプラン策定協議会を終わらせていただきます。本日は年度末のお忙しい中、また、長時間にわたる御議論、本当にありがとうございました。